

令和3年度 事業計画書（案）

大慈厚生事業会

1. <経営理念>

- ①時代の変遷にともない、福祉ニーズの変化を敏感に把握し、社会の人々のために、良質な福祉サービスを提供する
- ②いつでも、どこでも、だれでもが必要なときに最善の福祉サービスを提供できるように、日々、研究・努力する
- ③All for one, One for all
[全てが一人の為に、一人が全ての為に]

2. <基本方針>

- ・法人の設立方針である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、人権を尊重した運営をする
- ・各施設の基本方針を尊重する
- ・社会的に評価を得られるよう努める

3. <令和3年度法人ヴィジョン>

- ①経営強化について
 - ・安定的な経営基盤の強化
 - ・役職者に会計や運営についての研修を実施する
- ②教育システムの充実とサービスの質の向上について
 - ・職員OF職員の実施
- ③地域社会に必要とされる法人について
 - ・地域貢献事業の実施

4. <令和3年度目標>

- ①時代に合った広報・人材確保の強化
- ②部門間の協力体制作り
- ③コロナ禍での運営と変化に対応する能力の向上

5. <行動計画>

- ①時代に合った広報・人材確保の強化
 - ・今までの就職フェアの参加や学校訪問等に加えて、SNS やリモートのシステムを活用して人材確保につなげる
- ②部門間の協力体制作り
 - ・法人が今後も継続していけるよう、未来を見据えた事業継承を行うと共に、役員や各施設管理者等が一丸となって運営をしていくための内部管理体制を作る
- ③コロナ禍での運営と変化に対応する能力の向上
 - ・中長期計画の策定（3カ年）を行う

6. <<主要事業>>

	内容	月
役員会の運営	理事会の実施 決算・事業報告・その他 一次補正予算・予算・事業計画・その他	5月、1月
	評議員会の実施 決算・事業報告・その他	6月
	内容	月
事務局運営事業	監査事項説明会、監事監査	5月
	処遇改善実績報告書	5月
	現況報告書作成、資産登記	6月
	監査資料の作成	
	労務（入職・退職等手続き・労働保険精算など）	随時
	給与計算	毎月15日
	年末調整	12月
	法定調書・支払報告書の作成	1月
	予算委員会	7月、10月、1月
人材確保事業	各福祉系学校への営業活動 就職フェアへの参加	6月、11月 年4回

7. <<会議>>

会議名	頻度
法人運営会議	毎月
会計会議	

☆ 老人部門

1. <<目標>>

全員が主体的になれる部門を目指す

- ・働き方や給与等の見直しや変更
- ・誰もが自分の意見を言える場作り
- ・採用担当者を配置し、戦略的な広報活動と人材確保
- ・技能実習生の受入れ

2. <<行動計画>>

- ①給与・人財システムの改善
- ②学生向けレジェンド発表会やパンフレット・SNSを活用し、人材確保に努める
- ③部署内でのコミュニケーションを増やし、深める機会を作る
- ④新たに技能実習生4名を受け入れ予定とし、合計17名となる見込み。今後も育成方法等、各部署担当者が会議で話し合い、技能実習生が安心して、しっかりと育っていただけるようにサポートする

3. <<人材確保と育成計画等>>

- ①人材確保 目標 新卒10名採用
採用担当者が中心となって、戦略的な広報を行い人材確保につなげたい

新卒者については高卒者の採用が比較的良好であることから、高卒者に対象を絞って活動してきたが、今後は大卒者や専門学校卒者も採用できるよう活動していきたい

②人財育成計画

新人研修については、今まで通り初任者研修の受講を予定している。

中堅職員の育成は、入社式の運営や地域貢献への参加など介護業務以外の仕事に携わり、横の繋がりを作る様にしていきたい。

役職者については、大慈弥勒園ではコーチング研修、その他の施設では遠藤メソッド研修を継続する。

今後は、働くスタッフ全員が自分の意見を出し、PDCA サイクルを回す経験が出来る様な仕組みを目指す。

③福利厚生等

月	内容	月	内容
4月	歓送迎会	10月	職員旅行
5月	フットサル大会	11月	フットサル大会
7月	学生向けレジェンド発表会	12月	忘年会、職員オブ職員
8月	こども参観日	3月	こども参観日
9月	勤続表彰		

4. <地域貢献事業>

社会貢献委員会で実施している地域の祭りや行事に参加すると共に、神戸市老人福祉施設連盟と共同して、中学生への福祉教育を実施していく。

月	内容	月	内容
4月	西神さくら祭り	10月	西区健康福祉フェア
6月	サポーター	11月	井吹東祭り
8月	大慈園地蔵盆		井吹西祭り
9月	樋谷川祭り	1月	中学校福祉教育
	井吹きらきら祭り		

●おもと会送迎（毎月）

5. <広報活動>

広報チームを中心として職員採用パンフレットの作成やホームページの更新を行い、集客や人材確保につなげたい。

月	内容
10月	法人パンフレット発刊（更新）
3月	就職フェア 参加

●随時対応・・・ホームページ更新作業・職員採用パンフレット

6. 《研修計画予定表》

研修名	対象者	頻度
介護職員初任者研修	新人職員	4月～7月
新人職員研修	新人職員	4月～6月
パワハラ研修	役職者等	年1回
評価者研修	人事評価する職員	年2回
ステップアップ研修	昇級予定者	年1回
交換研修	希望者	年2回
昇級者発表会	昇級予定者	年1回

7.《施設整備計画》

大慈園 大規模修繕更新計画（外壁改修工事・弱電設備更新）

ケアハウス大慈 大規模修繕更新計画（空調設備更新）

8.《会議・委員会予定表》

会議名等	
事業戦略推進会議	予算管理委員会
人事委員会	モチベーションアップ委員会
広報委員会	こども参観会議
研修委員会	社会貢献委員会

☆ 保育・児童部門

1. 《目標》

施設間の情報共有の強化

2. 《行動計画》

- ①管理者会議の実施（月1回）
- ②他園との合同保育教諭会議（月1回）
- ③他園との合同キッチン会議（月1回）

3. 《人財確保と育成計画》

①人財確保

就職フェアへの参加、ボランティア、実習の受け入れを強化し、採用へと繋げていく。また、面接日時の個別対応を行う等、工夫をしていく

②人財育成計画

組織の見直し及び、キャリアアップ研修を基に、スキルアップを図る。

また、園内でのフィードバックの時間も充分に取り、個々の保育技術、教育的知識の強化に努める。

4. 《地域貢献事業》

子育てサロンや外国にルーツを持つ子どもの学習教室を継続して定期的に行う。

小学生の学習支援を行い、学習の補完をしていく。

また、その周知に努め、地域のニーズに対応していく。
大慈こども園で毎年行っている地藏盆についても、毎年、一般の方約500名が来園される。
大慈こども園だけではなく、保育・児童部門全体の取り組みとして位置づけ、連携を取りながら行っていく。

5. 《研修計画・予定表》

研修名	対象者	頻度
新人職員研修	新人職員	4月
中堅職員研修	2・3年目職員	3月
保育・児童部門合同研修	希望者	年1回

6. 《施設整備計画》

大慈幼保連携型認定こども園 電気設備修繕（LEDへ）

7. 《会議予定表》

職員会議
管理者会議
保育教諭会議
キッチン会議

令和3年度 事業計画書（案）

特別養護老人ホーム 大慈弥勒園
大慈弥勒園ショートステイ
大慈デイサービスセンター
養護老人ホーム 大慈吉祥園
指定特定施設入所者生活介護事業所 大慈吉祥園
ヘルパーステーション大慈

1. 《基本方針》

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的・肉体的な援助を行なう。又、ゲストの皆様との人間関係を深め、笑顔を忘れずゲストやご家族に満足していただけるサービスを提供する。

2 《行動指針》

- ① 「できない」理由ではなく、どうすれば「できる」かを考えます
- ② 仲間を信じチームワークを大切にします
- ③ 過去を重んじ、常に新しいことに挑戦します
- ④ 「おめでとう、ありがとう」が言い合える職場にします
- ⑤ 感謝の心を忘れず、誠実な対応を心掛けます
- ⑥ 自分の成長が仲間の成長と考えます

3. 《行動計画》

SDG s 取り組み宣言

SDGs とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている国際目標です。

2016年から2030年までの15年間に、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰一人取り残されない世界となるように17の目標を達成することをめざしています。

私たちは、ゴールを目指して地域とともに持続可能な笑顔あふれる社会の実現に貢献したいとの思いから、プロジェクトメンバーからなるSDGsプロジェクトが中心となって、「健全な経営」、「人材育成」、「働きがい」、「地域貢献」、「チャレンジ」の5つのテーマに集約し、SDGs方針を策定しました。

誰もが住み慣れた街で安心して暮らし続けられる持続可能な「SDGs×大慈」の構築に向けて取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4. <中長期行動計画>

●最終目標（10カ年）

『選ばれる施設になる』・・・新規採用者25名以上の応募がある

- ・技術と情熱の両輪が育っている
- ・コミュニケーションと繋がり大切にする
- ・一人一人の夢や目標を叶える
- ・地域の中心的な拠点となり、地域とともに持続可能な社会をつくる
- ・大慈で蓄積した技術が世界の福祉を変える

●中長期目標（5カ年）

- ・高齢者介護の拠点として競合他社に負けない独自の強みをつくる
- ・ここで働きたいと思える施設になる

●令和3年度共通目標

①健全な経営 各施設で設定した充足率の目標達成を目指す。

- ・強みの開発やサービスの変革を行い続ける
- ・高齢分野の社会福祉施設、ゲストの容態やご家族の希望に合わせ、柔軟に対応できる福祉サービスを提供。関係機関との信頼を高める

【充足率の目標達成値】

- ・特別養護老人ホーム大慈弥勒園 98%
- ・大慈弥勒園ショートステイ 100%
- ・養護老人ホーム大慈吉祥園 100%
- ・大慈デイサービスセンター 80%



②人材育成 情熱・ロマン・思い・気持ちを共有

- ・目的のある会議を毎月1回以上開催し、参加率を90%以上にする
- ・話しやすい雰囲気づくりを行い、一人一人の強みを大切にする
- ・課題解決型ではなく目標達成型の面談を2か月に1回実施する



③働きがい メンタルコーチと共にチームビルディングを実践

- ・ホームページの集客人数20%UP
- ・大規模修繕計画、予算に基づいた、改修工事実施率100%

【環境整備計画（予定）】

- 1) 外壁・防水工事
- 2) 自動火災報知設備受信機・放送設備
- 3) 電話・PHS・Wi-Fi・Ns コール改修工事
- 4) その他（設備関連工事等）



④地域貢献 介護予防と介護の魅力伝える

- ・地域に積極的に出向き、友達を10人つくる
- ・要援護者支援センターとして地域の防災訓練・福祉避難所訓練に年に1回参加する
- ・災害発生時に地域の方をスムーズに受入が出来るよう、基幹福祉避難所開設訓練を年1回実施する
- ・学生を対象としたレジェンド発表会を開催し介護について考える教育機会をつくる
- ・地域向けレジェンド発表会を開催し、介護で困っている方のサポーターとなる



⑤新しいことにチャレンジ

- ・他業種と協力して商品開発を行う
- ・企画立案件数10件と実施率100%



5. <事業所別行動計画>

●特別養護老人ホーム大慈弥勒園

『新たな職員配置や役割を決め、緊急ではない重要なことにフォーカスを向ける』

- ①ゲストと職員共に楽しめる企画を立案し、実行し続ける

●大慈デイサービスセンター

『在宅生活の支えとなるデイサービスの構築』

- ①多職種連携と介護力の強化
- ②広報活動の推進と営業方法を変更

●大慈弥勒園ショートステイ

『強みを作ることで新たに利用したいと感じるサービスを提供する』

- ①行事・レクリエーション・リハビリ等、参加したいと思える活動を推進

②在宅介護で困っている方への手を差し伸べる（介護相談・地域貢献）

●養護老人ホーム大慈吉祥園

『ゲストも職員も楽しいと思える場所にする』

- ①「できない」ではなく「どうすればできるか」を考え実行する
- ②相手のいいところにフォーカスする
- ③コミュニケーションを重視し信頼関係を構築させる

6. <<職員会議等>>

頻度	会議名			
月1回	法人運営会議	経営会議	相談部門会議	会計会議
	部門会議	事務部会	営業会議	全体会議
随時	ケアカンファレンス、			

7. <<委員会活動・OFF-JT等>>

委員会名		
サービス向上委員会	事故再発防止対策委員会	身体拘束適正化検討委員会
感染症防止対策委員会	非常災害時対策委員会	看取り介護委員会
給食委員会	医療的ケア委員会	褥瘡防止対策委員会
事業戦略推進会議	こども参観会議	労働衛生推進委員会
人事委員会	研修委員会	予算管理委員会
広報委員会	社会貢献委員会	モチベーションアップ委員会

8. <<月行事・行事食・年間行事>>

※ 新型コロナウイルス感染状況により実施内容や実施期間が変更になる場合がございます。

●特別養護老人ホーム大慈弥勒園

<食事>

行事食（赤飯）	毎月1日
誕生日食	第3月曜日

<行事>

月行事	頻度
理髪、チェリッシュパン販売、バイキング、買い物外出、コーヒー喫茶、パン販売	毎月1回
ビデオ上映会、カラオケクラブ、嚙下体操、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩、くもん式学習療法、園芸療法	随時

	行事		健康・予防接種年間計画		防災計画
	施設全体	栄養科	項目	内容	
	年間行事・外出行事	季節行事予定			
4月	お花見パーティー				電話訓練、OFF-JT（防災机上訓練・検証訓練）
5月	母の日	母の日	ゲスト定期	胸部X線	メール訓練、新人研修

月			健診	採血	(消火訓練)
6月	父の日	父の日	全職員定期健診	胸部 X 線、採血、検尿、検便、心電図、腰椎 X 線 (CW) 等	総合避難訓練 (日中想定・通報訓練・避難訓練・不審者対策訓練)
7月	七夕	七夕			マニュアル検証
8月	夏祭り、盆供養				OFF-JT (土砂災害避難訓練)
9月	敬老の日 秋の彼岸法要	敬老の日			消火訓練 (初期消火・消火器・消火栓扱い)
10月	秋の外出	秋の味覚行事	予防接種 (職員)	インフルエンザ予防接種	総合避難訓練 (夜間想定・通報訓練・避難訓練・不審者対策訓練)
11月	紅葉狩り	刺身提供の日	予防接種 (ゲスト)	インフルエンザ予防接種	電話訓練
12月	クリスマス会	Xmas ランチ	介護職員定期健診	採血	地域合同防災訓練
1月	初詣 (諏訪神社)	おせち、七草粥			メール訓練
2月	節分	節分			基幹福祉避難所開設訓練
3月	ひな祭り、春の彼岸法要	ひな祭り			災害物品庫の在庫整理・掃除

●大慈デイサービスセンター

<食事>

行事食 (赤飯)	毎月 1 日
誕生日食	第 4 週目

<行事>

行事名	頻度	人数	講師等	行事名	頻度	人数	講師等
リハビリ体操	毎日	20~25 名	職員	小旅行	年 1 回	希望者	職員
リズム体操	毎日	10 名	職員	理髪サービス	第 4 週目	希望者	美容師
誕生日会	随時	対象者	職員	クラブ活動	随時	3~4 名	職員
カラオケ	毎日	2~4 名	職員	園芸療法	月 1 回	3~4 名	外部講師
買い物ツアー	年 4 回	希望者	職員				

	行事		健康・予防接種年間計画		防災計画
	施設全体	栄養科	項目	内容	
	年間行事・外出行事	季節行事予定			
4月	お花見(園内)				電話訓練、OFF-JT (防災机上訓練・検証訓練)
5月	母の日週間 買い物ツアー	母の日			メール訓練、新人研修 (消火訓練)
6月	父の日週間	父の日	全職員定期 健診	胸部 X 線、 採血、検尿、 検便、心電 図、腰椎 X 線 (CW) 等	総合避難訓練 (日中想 定・通報訓練・避難訓 練・不審者対策訓練)
7月	七夕週間	七夕			マニュアル検証
8月	夏祭り週間 買い物ツアー				OFF-JT (土砂災害避難 訓練)
9月	敬老週間 ・慰問 ・職員出し物	敬老の日			消火訓練 (初期消火・ 消火器・消火栓扱い)
10月	秋の小旅行		予防接種(職 員)	インフルエ ンザ予防接 種	総合避難訓練 (夜間想 定・通報訓練・避難訓 練・不審者対策訓練)
11月	買い物ツアー				福祉避難所開設訓練
12月	クリスマス週間 ・慰問 ・職員出し物	クリスマス会	介護職員定 期健診	胸部 X 線、 採血、検尿、 検便、心電 図、腰椎 X 線 (CW) 等	地域合同防災訓練
1月	初詣 (諏訪神社)	おせち、七草 粥			メール訓練
2月		節分			基幹福祉避難所開設訓 練
3月	買い物ツアー	ひな祭り			災害物品庫の在庫整 理・掃除

- 養護老人ホーム 大慈吉祥園
- 指定特定施設入所者生活介護施設 大慈吉祥園
- ヘルパーステーション大慈

行事名	頻度	人数	講師等	行事名	頻度	人数	講師等
生活リハビリ	毎日 (個別毎)	2~ 5名	職員	カラオケ	随時	10名	職員

シルバー体操	月8回(月・水・木曜日)	30名	浦波先生 村越先生 和田先生	ラジオ体操 嚙下体操	毎日 日2回	全ゲスト	職員
華道	月1回	7名	西脇先生	ニコニコ ツアー	随時	1~3 名	職員
絵手紙	月1回	10名	シルバーカ レッジ	麻雀	随時	5名	職員
書道	月1回	10名	下村先生	ボランテ ィア散髪	奇数月	20~30 名	美容師
園芸療法	月1回	6名	外部講師	買物ツア ー	月2回	2~8 名	職員
誕生者食事会	月1回	対象者	職員	健康チェ ック	月1回	全ゲスト	職員
理髪	月1回	希望者	美容師	月命日	月1回	希望者	職員

	行事	
	施設全体	栄養科
	年間行事・外出行事	季節行事予定
4月	お花見(園内)、ボーイスカウト慰問	お花見
5月	母の日	母の日
6月	父の日、寿司食事会	父の日
7月	七夕	七夕
8月	納涼祭(花火)、盆供養	
9月	敬老会(喜寿米寿)、秋の彼岸法要	敬老の日
10月	プチ旅行(6~10月)、同朋にこここ保育園交流会	
11月	吉祥祭(文化祭)	吉祥祭
12月	つぐみ保育園慰問、クリスマス会	クリスマス会
1月	新年会、初詣(諏訪神社)	おせち、七草粥
2月	節分	節分
3月	ひな祭り、春の彼岸法要	ひな祭り

9. <<職員構成>>

●大慈弥勒園(ショートステイ含む)

施設長	副施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	1名	2名	1名	2名
看護職員	管理栄養士	介護職員（正職）	介護職員（パート）	
7名	1名	30名	24名	

●大慈デイサービスセンター

管理者	生活相談員	看護職員	機能回復訓練士	介護職員（常勤）	介護職員（非常勤）	運転手
1名	2名	2名	1名	6名	4名	5名

●養護老人ホーム大慈吉祥園

施設長	生活相談員	主任支援員	支援員	看護師	栄養士	事務員
1名	2名	1名	1名	1名	1名	1名

●指定特定施設入所者生活介護事業所 大慈吉祥園

管理者1名	介護支援専門員1名（吉祥園の相談員兼務）	支援員5.5名
	相談員1名（吉祥園主任相談員兼務）	

●ヘルパーステーション大慈

管理者1名	サービス提供責任者3名（訪問介護兼任）	ホームヘルパー4名
-------	---------------------	-----------

令和3年度 事業計画書 (案)

特別養護老人ホーム 大慈智音園

1. <基本方針>

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居者の居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が継続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるサービスを提供する

2. <最終目標>

心・和み・笑顔 ～私達が将来入居したい施設を目指します～

「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」

- ・全ての人々の心を大切にします
- ・全ての人々の和を大切にします
- ・全ての人々が笑顔になれる場所にします

3. <令和3年度 施設の目標> (充足率98%)

- ①当たり前を当たり前以上に (整容・負担のない介護)
- ②マナー向上 (きれいな言葉と笑顔の提供)
- ③レクリエーション・余暇活動の提供 (ゲストの楽しみづくり)
- ④メソッドの継続 (介護技術標準を活用し教育していく)

4. <委員会活動>

委員会名		
リスクマネジメント委員会	身体拘束適正化委員会	感染症防止対策委員会
非常災害時対策委員会	給食・行事委員会	看取り褥瘡防止委員会
労働衛生委員会	入所判定委員会	

5. <地域貢献事業>

大慈弥勒園と同様

6. <職員会議>

頻度	会議名			
月1回	法人運営会議	智音会議	リーダー会議	ユニット会議
	口腔機能維持管理に関わる助言会議		食事観察及びミールラウンド会議	
随時	ケアカンファレンス			

7. 《月行事・行事食・年間行事》

《食事》

行事食（赤飯）	毎月1回
選択食（朝食）	毎日
間食の日	毎月3回

《行事》

理髪	毎月1回
音楽レクリエーション	毎月2回
ビデオ上映会、カラオケ、嚙下体操、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩	随時

	行事		健診・予防接種年間計画		防災計画
	施設全体	栄養科	項目	内容	
	年間行事・外出行事	季節行事予定			
4月	お花見お散歩 (伊川沿い)	花見弁当	ゲスト定期健診	採血	消化器使用期限 確認 防災マニ ュアル確認
5月	こいのぼりを見る 会	母の日 (おやつ)			高圧電気点検 不審者対策
6月		父の日 (おやつ)	全職員定期健診	胸部X線、採血、検 尿、検便、心電図、 腰椎X線 (CWのみ) 等	災害連絡網確認 通報訓練
7月		七夕 (ちらし寿 司)			消火訓練 災害食作成訓練
8月	ちいさい花火大会	夏のそうめん	ゲスト定期健診	胸部X線	図上避難訓練 消防設備点検
9月	お月見会	敬老の日 (巻き寿 司)			不審者対策 災害連絡網確認
10月		秋の味覚行事(土 鍋ご飯)	予防接種 (職員)	インフルエンザ予防 接種	消化器使用期限 確認 防災マニ ュアル確認

1 1 月		冬の土鍋雑炊	予防接種（ゲスト）	インフルエンザ予防接種	総合避難訓練 （夜間） 通報訓練
			介護職員定期健診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、腰椎X線（CWのみ）等	
1 2 月	クリスマス会	クリスマスランチ ケーキ作り 年越しそば			消火訓練 災害食作成訓練
1 月	初詣	おせち 七草粥 鏡開き（ぜんざい）			図上避難訓練
2 月	節分の行事	節分（巻き寿司） バレンタインデー（チョコレートケーキ）			消防設備点検
3 月	ひな祭り	ひな祭り （ちらし寿司）			総合避難訓練 （日中） 不審者対策 暗唱番号変更

8. 《職員配置》ショートを含む定員80名

施設長	副施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	1名	2名	1名	1名
看護職員	管理栄養士	介護職員（常勤）		
4名	1名	35名		

令和3年度 事業計画書 (案)

大慈智音園ショートステイ

1. <基本方針>

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的、身体的な援助を行う。又、居宅における生活と利用時の生活が継続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるサービスを提供する

2. <最終目標>

心・和み・笑顔 ～私達が将来入居したい施設を目指します～

「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」

- ・全ての人々の心を大切にします
- ・全ての人々の和を大切にします
- ・全ての人々が笑顔になれる場所にします

3. <令和3年度 施設の目標> (充足率100%)

福祉の人材を育てる

- ①当たり前を当たり前以上に (整容・負担のない介護)
- ②マナー向上 (きれいな言葉と笑顔の提供)
- ③レクリエーション・余暇活動の提供 (利用者の楽しみづくり)
- ④メソッドの継続 (介護技術標準を活用し教育していく)

4. <委員会活動>

5. <地域貢献事業>

6. <職員会議>

7. <月行事・行事食・年間行事>

8. <職員配置>ショートを含む定員80名

大慈智音園と同様

令和3年度 事業計画書 (案)

事業所内保育事業 大慈さくら保育園

1. 《ヴィジョン》

世代を超えた関わりのもと、安心して自分を出せる子どもを育てる

2. 《基本方針》

- ① 高齢者との多様な関わりを通して、思いやりの心を育む
- ② 自然との関わりを通して、多様な経験をする
- ③ 子どもが安心して生活できるように、保護者との連携を図る

3. 《最終目標》

心・和み・笑顔 ～世代を超えた関わり、誰からも愛される園を目指します～
「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」
・全ての人々の心を大切にします
・全ての人々の和を大切にします
・全ての人々が笑顔になれる場所にします

4. 《中長期目標》

- ① 保育理念に基づいた保育を職員で共通理解し、実施する
- ② 子ども、保護者に寄り添い、共に子育てをする

5. 《令和3年度計画》

- ① 保育理念に基づき、環境を見直し整え、子どもの自主性を養う
- ② 事業所枠の園児数推移によっては、地域枠の拡大を申請し、在園児数を増やす
- ③ 老人施設事業所内保育の特性を活かし、高齢者との交流を定期的実施する

6. 《月行事計画》

月行事	頻度
お誕生日会	毎月1回
発育測定	毎月1回
特養高齢者との交流会	毎月2～4回

7. 《年間行事》

月	行事	月	行事
4月	入園式	11月	
5月		12月	クリスマス会
6月	2歳児 園外保育	1月	正月あそび
7月	七夕まつり	2月	豆まき
8月	花火大会 (特養と合同)	3月	お別れ会

8. <防火防災計画>

①運営に関する基準に準じ毎月の防災訓練を実施する

月行事	頻度
防災訓練（避難及び消火訓練）	毎月1回
防犯訓練	毎月1回
安全チェック	毎月1回
事故対応訓練（SIDS・誤飲・アレルギー対応）	随時

②訓練や設備点検等、大慈智音園の防火防災計画と連動を図る

<例：大慈智音園防火防災計画>

月	内容
4月	消火器使用期限確認 防災マニュアル確認
5月	高圧電気点検 不審者対策 消火訓練
6月	災害連絡網確認 通報訓練 水害訓練
7月	消火訓練 災害食作成訓練 地震訓練
8月	図上避難訓練 消防設備点検 溺水訓練
9月	不審者対策 災害連絡網確認 SIDS対応
10月	消火器使用期限確認 防災マニュアル確認
11月	総合避難訓練（夜間） 通報訓練
12月	消火訓練
1月	図上避難訓練 地震訓練
2月	消防設備点検
3月	総合避難訓練（日中） 不審者対策 暗証番号変更

9. <苦情処理>

- ・担当者を明記し随時受け付け口頭・書面で上司へ報告、敏速で確実な対応を行う。

10. <幼保連携型認定こども園 同朋にこここ園との連携>

- ・保育内容の支援（巡回指導・相談等・代替え保育）
- ・集団保育の体験機会（行事参加または屋外遊戯場の利用等）
- ・地域枠で入所される児童（3歳以降）の連携・調整
- ・給食の搬入

11. <保健衛生計画>

項目	頻度等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	年1回

園児発育測定	月1回
園児検尿	年1回
保育従事者の検便	月1回

令和3年度 事業計画書（案）

ケアハウス大慈

1. <基本方針>

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

2. <最終目標>

いきいきのびのびスマイリー運動

みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔

（みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します）

- ・生きがい・やりがいを大切にします
- ・自分らしさを大切にします
- ・自然と笑顔溢れる温かい雰囲気大切にします
- ・みんながしあわせになることを目指します

<令和3年度重点目標>

<ケア部門>

- ①ゲスト目線でのケアが提供できるようになる
 - ・24時間シートを作成し、それに合わせたタイムテーブルでサービス提供を行う
- ②指導・サポートの統一した活用方法を検討し実行する
 - ・「食事」「入浴」「排泄」「移乗」等についてのサポート方法を24時間シートに記載し、それを用いて指導を行う
- ③認知症ゲスト対応のスキル向上を図る
 - ・各フロアで認知症ゲストの特徴をあげ、どのようなサポートを行っているか毎月のリーダー会議で報告する
 - ・報告事例に対し各フロアスタッフで話し合い、実行・評価を行うことでスキル向上を図る

<経営部門>

- ①在籍率97%以上、在園率95%を維持する
 - A) 確実な待機者数5名以上確保しておく（定期的な連絡を実施する）
 - B) 入院者が必要最小限の入院期間で退院できるよう、病院と連携し、情報の交換に努める
- ②人材確保と育成
 - A) 離職防止・定着対策の推進
 - ・毎月、面談を実施する

3. <環境整備計画>

大規模修繕計画を作成し、経年劣化による修繕と業務効率を意識した整備を実施する

- ① PHS・Wi-Fiの環境整備

- ② 空調関係整備
- ③ その他（整備関連工事）

4. <<地域貢献事業>>

- ① 社会貢献委員会が主催する行事
- ② ほっとかへんネットKOBE・西との連携

5. <<職員会議等>>

頻度	会議名			
月1回	法人運営会議	経営会議	会計会議	だいじな会議
	部門会議	営業会議	リーダー会議	
随時	ケアカンファレンス			

<委員会活動>

委員会名		
労働衛生委員会	チェリッシュ委員会	行事委員会
災害・設備委員会	感染防止対策・エコ節約委員会	リスクマネジメント委員会
サービス向上委員会	褥瘡検討委員会	身体拘束廃止委員会
事業戦略推進会議	社会貢献委員会	予算管理委員会

6. <<月行事・行事食・年間行事>>

<食事>

行事食（赤飯）	毎月1日
お食事会	フロア別に毎月1回

月	行事		健康・予防接種	年間計画	防災計画
	施設年間行事 外出行事	栄養科	項目	内容	項目・内容
4月	お花見	お花見 ティータイム	ゲスト定期健診	採血 胸部X線	新人向け研修・ 消火訓練
5月	母の日 こどもの日	母の日 こどもの日	全職員定期健診	採血 胸部X線 検尿・検便 心電図	
6月	父の日	父の日			
7月	七夕	七夕 13周年記念バ イキング			
8月	地藏盆 かき氷	児童館交流会			避難訓練（日中 想定）
9月	敬老会	敬老会			OFF-JT （不審者・火災 想定） 図上訓練

10月	感謝祭	感謝祭	予防接種（全職員）		
11月	お茶会		インフルエンザ 予防接種（ゲスト） 介護職員定期健診	採血 採尿	避難訓練（夜間想定）
12月	クリスマス会	クリスマス会 餅つき大会			
1月	新年会 初詣 餅つき大会	おせち 7草粥 餅つき大会			神戸市シェイクアウト訓練
2月	節分	節分 バレンタイン デー			避難訓練（夜間想定）
3月	ひな祭り	ひな祭り 握り寿司 ホワイトデー			OFF-JT （災害・地震想定 定図上訓練）

7. 《職員構成》

施設長	副施設長	生活相談員	看護職員 （パート）	管理栄養士
1名	1名	1名	3（1）名	2名
事務員	介護職員 （1フロア）	介護職員 （パート） （1フロア）	機能回復訓練士	運転手
2名	7名	3名	1名	2名

令和3年度 事業計画書 (案)

大慈ショートステイさくら

1. <基本方針>

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

2. <最終目標>

いきいきのびのびスマイリー運動

みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します)

- ・生きがい・やりがいを大切にします
- ・自分らしさを大切にします
- ・自然と笑顔溢れる温かい雰囲気大切にします
- ・みんながしあわせになることを目指します

<令和3年度重点目標>

<ケア部門>

- ①ゲスト目線でのケアが提供できるようになる
 - ・24時間シートを作成し、それに合わせたタイムテーブルでサービス提供を行う
- ②指導・サポートの統一した活用方法を検討し実行する
 - ・「食事」「入浴」「排泄」「移乗」等についてのサポート方法を24時間シートに記載し、それを用いて指導を行う
- ③認知症ゲスト対応のスキル向上を図る
 - ・各フロアで認知症ゲストの特徴をあげ、どのようなサポートを行っているか毎月のリーダー会議で報告する
 - ・報告事例に対し各フロアスタッフで話し合い、実行・評価を行うことでスキル向上を図る

<経営部門>

- ①充足率の向上 (目標95%以上)
 - ・空きベッドの公開、外部への連絡調整を行う
 - ・ケアカンファレンスへ参加し、ケアマネジャーとの情報交換に努める
- ②定期的な営業活動の実施

3. <環境整備計画>

4. <地域貢献事業>

5. <職員会議等>

6. <月行事・行事食・年間行事>

7. <職員構成>

} ケアハウス大慈に準ずる

令和3年度 事業計画書 (案)

居宅介護支援事業所 大慈園

1. <基本方針>

- ①可能な限り住み慣れた地域においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるように支援する
- ②公正中立な立場で、自己決定ができるように援助する
- ③質の高いケアマネジメントの推進
- ④医療と介護の連携強化

2. <最終目標>

「豊かで安心できる在宅生活の実現」

- ・介護が必要な状態になっても住み慣れた自宅で最期まで過ごせるよう、様々な社会資源を活用し生活をサポートしていく。
- ・施設利用となっても、本人・家族の思いを受け止め、決断に寄り添い精神的なサポートを行う。

3. <目標>

- ①介護支援専門員としての資質の向上
 - A) 相談援助技術向上の為の勉強会
 - B) 報酬改定に関する勉強会と改定内容の理解
 - C) 予防支援業務従事者研修受講、予防支援業務遂行の体制づくり
 - D) 後進の育成
- ②連携の強化
 - A) 医療と介護の連携（在宅医・病院地域連携との情報共有、入退院加算収益の確保）
 - B) 西神南あんしんすこやかセンター及び圏域外の地域包括支援センターとの連携
 - C) 地域との連携と地域貢献行事の参加
 - D) 伝達会議等を通じてケースの情報共有を行い、事業所内で連携できる体制づくり
- ③更新認定調査委託業務の維持・継続
- ④災害や感染症発生時における事業継続の体制づくり

4. 年間予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
見学実習受け入れ	○	○										○
避難リスト更新			○	○								
地藏盆					○							
他法人との事例検討				○							○	

※伝達会議（週1回）、調査員会議（隔月）、研修・地域ケア会議・地域行事には随時参加
事業所内勉強会は年間計画表に沿って実施

5. <職員構成>

管理者	主任介護支援専門員	介護支援専門員	認定調査員
1名	3名 (内1名は管理者兼務)	1名	3名

令和3年度 事業計画書 (案)

大慈幼保連携型認定こども園

1. ≪基本方針≫

- ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い共に育てる。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図る。

2. ≪中長期目標≫

- ①地域・保護者と共に歩む。
- ②教育・保育要領を理解し、教育保育を深める。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④広報活動・求人活動を積極的に行う。
- ⑤法人内幼保連携型認定こども園と連携を図り、独自性を出す。
- ⑥地域の子育て家庭への支援を行う。

3. ≪令和3年度計画≫

- ①子どもの発達段階をよく理解し、主体性を育むよう努める。
 - ②子どもの好奇心から始まる自発的な遊びや活動が展開できるように環境を整える。
 - ③本園と分園の連携を密に図り、豊かな教育保育が行えるようにする。
 - ④特色・サービスの視覚化を進める。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、保護者と職員との交流を深める。
 - ・地域の施設・学校・関係者に園だより等を配布する。
 - ・湊川神社への避難訓練時、腕章をつけて、地域の方に知っていただく。
 - ・園庭開放、子育てひろばにて、園を知っていただく。
 - ・園庭開放ポスターを病院等に掲示していただく。
 - ⑤資質向上のため職場内、職場外研修を行う。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・職員会議毎に研修、伝達講習、ブレインストーミング等を行う。
 - ・教育保育部門合同研修を行う。
 - ⑥人材確保・定着に努める。(ICTを活用し、効率化を図る。)
 - ⑦特別な配慮、支援の必要な子どもへの理解を深め、多角的にアプローチする。
 - ⑧子育てサロン、外国にルーツを持つ子どものための学習教室を通して、地域への支援を深める。
 - ⑨リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
 - ⑩1号認定に移行する大慈あい小規模保育園、大慈さち小規模保育園の園児(2歳児)を早めに受け入れ、慣れるようにする。
 - ⑪新型コロナウイルス感染症対策を行う。
 - ・手洗い手指消毒、マスクの着用
 - ・家庭内や園での健康観察の周知徹底
 - ・十分な換気、空気清浄機の活用
- *その他、日常の保育や行事の開催方法、地域貢献事業の開催についても、状況をみながら対応していく。

4. 《地域貢献事業計画》

- ・ 8月 地蔵盆
- ・ 12月 おもちつき
- ・ 毎月 基本第4土曜日 子育てサロン開催
- ・ 毎週火曜日 外国にルーツを持つ子どものための学習教室

5. 《修繕・購入計画》

電気設備修繕（LEDへ）

6. 《行事計画》

年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	お楽しみ会（こいのぼり集会） 春の遠足（5歳児） 運動会
6月	歯科教育指導 同園会
7月	全園児プール開き 七夕祭り ワークキャンプ受け入れ
8月	地蔵盆
9月	デイサービスお祝い会 お泊り保育（5歳児）
10月	秋の遠足（全園児） 保育参加日
11月	作品展 お楽しみ会 津波避難訓練
12月	クリスマス会 おもちつき
1月	よいこの集い 六甲山そり遊び遠足（5歳児） お楽しみ会 津波避難訓練
2月	生活発表会 ピドスコープ撮影
3月	お別れ遠足（全園児） お別れ会 卒園式 津波避難訓練

月間行事（月1回）

お誕生日会 防災訓練 防犯訓練 ECC英語遊び

その他

- ・ 音楽指導・ダンス4・5歳児 月数回
- ・ 盲学校幼稚園部児童との交流 月数回
- ・ 事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー対応）
- ・ 消火器 火災報知機の点検 年2回
- ・ 消防署による消防訓練 年1回
- ・ 警察署による交通安全教室・防犯訓練 年1回

*新型コロナウイルス感染症対策により実施できないこともある

7. <<保健衛生計画>>

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋 年2回 職員 春 年1回
園児歯科健診	6月・11月（4・5歳児）
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	6月・2月（4・5歳児）
園児発育測定	月1回
園児検尿	年1回
調理員・保育者全員検便	月1回以上
調理室の消毒	月1回
グリストラップの清掃	年4回
エアコン・換気扇の清掃	年1回
砂場消毒	年1回

令和3年度 事業計画書（案）

大慈ほまれ幼保連携型認定こども園

1. 《基本方針》

- ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い共に育てる。
- ②職員一人一人が自己研鑽し、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図る。

2. 《中長期計画》

- ①教育・保育要領を理解し、教育保育を深める。
- ②地域交流を深め、地域と共に育てる。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④広報活動・求人活動を積極的に行う。
- ⑤法人内の幼保連携型認定こども園・小規模保育園との連携を図り、独自性を出す。
- ⑥地域の子育て家庭への支援を行う。

3. 《令和3年度計画》

- ①子どもの発達段階をよく理解し、主体性を育むよう努める。
- ②子どもの好奇心から始まる自発的な遊びや活動が展開できるように環境を整える。
- ③大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園との連携を図り、豊かな保育を行えるようにする。
- ④特色・事業内容の視覚化を進める。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、保護者に職員を知っていただく。
 - ・ホームページ等での発信を行う。
 - ・地域に園だより等を配布する。
- ⑤資質向上のため職場内、職場外研修を行う。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・職員会議毎に研修、伝達講習、ブレインストーミングを行う。
 - ・教育保育部門職員合同研修を行う。
- ⑥人材確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る。）
- ⑦リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑧園開放にたくさん参加していただけるよう受け入れ体制を整えておく。
- ⑨地域の子育てニーズに応えるべく一時保育を積極的に受け入れる。
- ⑩子育てサロンを通して、地域の子育て支援を深める。
 - *⑧⑨⑩は、新型コロナウイルス感染拡大状況により実施・内容を検討する。
- ⑪新型コロナウイルス感染症対策を行う。
 - ・マスク着用、手洗い手指消毒の徹底、健康観察の周知徹底
 - ・こまめな換気、加湿器、空気清浄機の活用
 - ・職員や保護者へ取り組み指導

- ・神戸市からの情報発信
 - ・発熱やその他の症状における対応
- *新型コロナウイルス感染拡大状況により実施・内容・時期を検討し対応する。

4. 《地域貢献事業計画》

- ・6月 お楽しみ会
- ・8月 プール遊び・夏祭り・大慈こども園の地蔵盆
- ・11月 お楽しみ会
- ・1月 おもちつき
- ・毎月 基本第2土曜日 子育てサロン開催

5. 《大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園との連携》

- ・土曜日は大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園の園児も大慈ほまれ幼保連携型認定こども園で保育を行う。
- ・1号に移行する大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園の園児（2歳児）を早めに受入れ慣れるようにする。

6. 《行事計画》

年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	春の遠足（5歳児） お楽しみ会
6月	お楽しみ会 歯科教育指導
7月	プール開き 七夕まつり ワークキャンプ受け入れ
8月	夏まつり（同園会含む） ワークキャンプ受け入れ
9月	お泊り保育（5歳児）
10月	運動会 秋の遠足（全園児）
11月	参観ウィーク 作品展 お楽しみ会 津波避難訓練（大倉山中央体育館）
12月	音楽会 クリスマス会
1月	おもちつき そり遊び よいこの集い（5歳児） 地震避難訓練（大倉山中央体育館）
2月	生活発表会
3月	お別れ遠足（全園児） お別れ会 卒園式

月間行事（月1回）

- ・お誕生日会・防災訓練・防犯訓練・E C C英語遊び・園児発育測定

その他

- ・消火器、火災報知器の点検 年2回
- ・消防署による消防訓練 年1回

- ・警察署による交通安全教室、防犯訓練 年1回
- ・事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー・痙攣）

7. <<保健衛生計画>>

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・11月（4，5歳児）
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	11月 年1回
園児発育測定	月1回
園児検尿	年1回
調理員・保育者全員検便	月1回以上
調理室の消毒	毎月1回
グリストラップの清掃	年5回
エアコン・換気扇の清掃	年1回

*新型コロナウイルス感染拡大状況により実施・内容・時期を検討し対応する。

令和3年度 事業計画書（案）

大慈ひょうご幼保連携型認定こども園

1. 《基本方針》

- ①安全を第一に考え、子どもが安心して元気に活動できるよう工夫する。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図る。

2. 《中長期目標》

- ①理念に基づいた教育・保育を職員で共通理解し、実施する。
- ②子ども、保護者に寄り添い、地域とともに歩む。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④法人内幼保連携型認定こども園の連携を図り、独自性を出す。
- ⑤地域交流を深め、地域子育て家庭への支援を行う。

3. 《令和3年度計画》

- ①子どもの発達段階をよく理解し、主体性を育むよう努める。
 - ②異年齢の関わりを深める。
 - ③子どもの好奇心から始まる自発的な遊びや活動が展開できるように環境を整える。
 - ④子どもや保護者、地域とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにする。
 - ・地域の学校、施設、関係者に園だよりを配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
 - ・要支援家庭、外国籍家庭に対して、職員が共通理解を持ち保育を進めると共に、関係機関と連絡を密にして子どもが安定して園生活ができるようにする。
 - ⑤資質向上のため、職場内、職場外研修を行い、全職員で共通理解をする。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・職員会議毎に研修、伝達講習、ブレインストーミングを行う。
 - ・教育保育部門合同研修を行う。
 - ・法人内職員での専門性を深めるチーム会議を随時行い、各園に周知する。
 - ⑥人材確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る）
 - ⑦行事に地域の方をご招待したり、一緒に遊ぶ機会を計画するなど、地域交流を深め、地域に根付いた園であり続ける。
 - ⑧リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
 - ⑨1号に移行する大慈あい小規模保育園、大慈さち小規模保育園の園児（2歳児）を早めに受け入れ、慣れるようにする。
 - ⑩新型コロナウイルス対策を、状況により取り組んでいく。
 - ・マスク装着、手洗い、手指消毒、換気の徹底。
 - ・家庭内や園での健康観察の周知徹底。
 - ・発熱時、その他症状における対応。
 - ・神戸市からの情報を職員、保護者への発信、取り組み指導。
- ※その他、日常の保育や行事の開催方法、地域貢献事業などは、状況をみながら対応する。

4. <<修繕・購入計画>>

- ・ 2歳児トイレ床張り替え

5. <<地域貢献事業計画>>

- ・ 6月 体験保育
 - ・ 6月、10月 お楽しみ会（人形劇 ミュージカル等）
 - ・ 7月、8月 プール開放 夏まつり 大慈こども園地蔵盆
 - ・ 11月 焼き芋パーティー
 - ・ 毎月第1、3 水、木曜日 園庭開放
- ※新型コロナウイルス感染症状況により実施・内容を検討する。

6. <<行事計画>>

年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	春の遠足（5歳児）
6月	食育フェア お楽しみ会 歯科教育指導
7月	プール開き 七夕祭り 夏まつり プラネタリウム（5歳児）
8月	プール参観 湊小学校プール参加 ワークキャンプ受け入れ
9月	お泊り保育（5歳児）
10月	運動会 いもほり遠足（3・4歳児） 秋の遠足 お楽しみ会
11月	焼きいも大会 参観ウィーク 作品展 津波避難訓練
12月	ドレミコンサート クリスマス会
1月	もちつき よい子のつどい（5歳児） 津波避難訓練
2月	生活発表会
3月	お別れ遠足（全園児） お別れ会 卒園式 津波避難訓練

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により実施・内容を検討する。

月間行事（月1回）

お誕生日会 防災訓練 防犯訓練

その他

- ・ 兵庫区の保育園（所）との交流会 年3回
- ・ 兵庫区内児童館との交流
- ・ 法人内園の交流
- ・ 東出町自治会、老人会との交流
- ・ 消防署による消防訓練 年1回
- ・ 警察署による交通安全教室・防犯訓練 各年1回
- ・ 事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー対応・痙攣）
- ・ 消火器、火災報知機の点検を年2回行う。

※新型コロナウイルス感染症対策により実施できないこともある。

7. <<保健衛生計画>>

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・11月 年2回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
4・5歳児眼科健診	6月 年1回
園児身体測定	月1回
園児尿検査	年1回
調理員・保育者検便	月1回以上
調理室の消毒	月1回
グリストラップの清掃	年4回
エアコン・換気扇の清掃	年1回
砂場消毒	年1回

1. 《基本方針》

- ①子ども・保護者一人一人をよく把握し、寄り添った保育を行う。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図る。

2. 《中長期目標》

- ①保育理念に基づいた保育を職員で共通理解し、実施する。
- ②子ども、保護者に寄り添い、共に子育てをする。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④法人内幼保連携型認定こども園の連携を図り独自性を出す。

3. 《令和3年度計画》

- ①保育理念をよく理解し、子どもの主体性を育むよう保育をする。
- ②保護者理解が深められるよう、日頃からの関わりを大切にする。
- ③大慈ほまれ幼保連携型認定こども園との連携を図り、豊かな体験を増やす。
- ④保護者や地域の方々とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにする。
 - ・地域に園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
- ⑤資質向上のため職場内、職場外研修を行う。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・教育・保育部門合同研修を行う。
- ⑥日頃より、法人内園・児童館に行き、交流を深める。
- ⑦人材確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る）
- ⑧リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑨新型コロナウイルス対策を流行状況により対応する。
 - ・常に窓を開けて換気を行う
 - ・職員・子ども・保護者の体調管理、また取り組みの指導
 - ・手洗い、手指、玩具の消毒の徹底
 - ・発熱時やその他症状が出た時の対応
 - ・神戸市からの情報を発信する

4. 《大慈ほまれ幼保連携型認定こども園との連携》

- ・土曜日は大慈ほまれ幼保連携型認定こども園で保育を行う。
- ・1号で移行する園児（2歳児）は各連携園に、早めに受け入れていただき、慣れるようにする。
- ・運動会、おもちつきは合同で行う。

5. 《行事計画》

年間行事

月	行 事	月	行 事
4月	入園式	11月	個人懇談
5月	運動会	12月	クリスマス会
6月	個人懇談	1月	おもちつき
7月	七夕まつり	2月	豆まき
10月	遠足ごっこ	3月	お別れ会（茶話会） お別れ遠足

月間行事

- ・お誕生日会（月1回）大慈ほまれ幼保連携型認定こども園にて
- ・ECC英語遊び
- ・防災訓練

その他

- ・防犯訓練
- ・事故対応訓練（SIDS・誤飲・アレルギー対応）
- ・消火器、火災報知機の点検 年2回

6. 《保健衛生計画》

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・年1回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児身体測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
保育者全員検便	（株）有研により月1回以上

令和3年度 事業計画書 (案)

大慈さち小規模保育園

1. 《基本方針》

- ①子ども・保護者一人一人をよく把握し、寄り添った保育を行う。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図る。

2. 《中長期目標》

- ①子ども、保護者に寄り添い、共に子育てをする。
- ②地域に愛される大慈さち小規模保育園になるよう努める。
- ③法人内幼保連携型認定こども園の連携を図り独自性を出す。

3. 《令和3年度計画》

- ①保育理念をよく理解し、子どもの主体性を育むよう保育をする。
 - ②保護者理解が深められるよう、日頃からの関わりを大切にする。
 - ③法人内幼保連携型認定こども園との連携を図り、豊かな体験を増やす。
 - ④保護者や地域の方々とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにする。
 - ・地域に園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
 - ・花壇に綺麗なお花を咲かせ、地域の心温まる場所になるよう手入れをする。
 - ⑤資質向上のため職場内、職場外研修を行う。
 - ・教育・保育部門合同研修を行う。
 - ⑦人材確保・定着に努める。(ICTの活発な活用等により効率化を図る)
 - ⑧リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
 - ⑨新型コロナウイルス感染症対策を行う。
 - ・職員や保護者等のマスク着用、手洗い手指消毒の徹底
 - ・健康観察の周知徹底
 - ・こまめな換気、加湿器、空気清浄機の活用
 - ・職員や保護者への取り組み指導・神戸市からの情報発信
 - ・発熱やその他の症状における対応
- *新型コロナウイルス感染拡大状況により実施・内容・時期を検討し対応する。

4. 《大慈ほまれ幼保連携型認定こども園との連携》

- ・土曜日は大慈ほまれ幼保連携型認定こども園で保育を行う。
- ・1号で移行する園児(2歳児)は、各連携園に早めに受け入れていただき、慣れるようにする。

5. 《行事計画》

年間行事

月	行事	月	行事
4月	入園式	11月	作品展 個人懇談
5月	運動会	12月	クリスマス会
6月	個人懇談	1月	おもちゃつき

7月	七夕まつり 夏まつり	2月	豆まき
10月	遠足ごっこ	3月	お別れ会 お別れ遠足

月間行事

- ・お誕生日会
- ・防災訓練

その他

- ・防犯訓練
- ・事故対応訓練（SIDS・誤飲・アレルギー対応）
- ・消火器、火災報知機の点検

6. 《保健衛生計画》

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・年1回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児発育測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
保育者全員検便	(株) 有研により月1回以上

*新型コロナウイルス感染拡大状況により実施・内容・時期を検討し対応する。

令和3年度 事業計画書（案）

神戸市立たちばな児童館

1. 《基本方針》

家庭的な雰囲気の中で、遊びや子ども同士の関わりを通して、将来も幸せになるよう支援を行い、子育てコミュニティの拠点となるよう地域に開かれた児童館を目指す。

2. 《中長期計画》

- ①地域と連携して、子どもを健全に育成する拠点となる。
- ②法人内幼保連携型認定こども園と連携を図り、保育の玄関口となる。
- ③親子が気軽に集い、育児に対する負担感を軽減できる場となる。
- ④育児に不安を覚えた際に、安心して相談しに行きたい場所になる。
- ⑤初めてくる方が安心して利用できるように、また、児童館の存在を知らない子育て家庭に、知ってもらえるように広報活動をしていく。
- ⑥地域の小学生以上の児童が進んで遊びに来たくなる場所を目指す。
- ⑦ボランティアの募集を積極的に行い、児童館活動の更なる充実を図る。

(1) 児童健全育成事業

児童館での日常の自由遊びや行事を通して、児童の健全育成を図る。

対 象：18歳未満の児童館に来館する児童（乳幼児は親子同伴）

(2) 在宅育児家庭支援

親子館事業

在宅育児家庭における育児に伴う孤立化や育児不安などへ対応するため、地域に住む乳幼児と保護者を対象に親子が気軽に集える場として事業を行う。

○「すこやかクラブ」2～4歳児とその保護者の仲間づくり（登録制）

目 的：2～4歳児の親子対象で、グループで楽しく遊び、保護者同士の交流を図る。

対 象：2～4歳児とその保護者（2021年4月1日現在）

実施日：毎週木曜日10：00～10：50（5月～3月）

11：00～11：50（申込者が多数の場合に実施）

○「キッズクラブ」すこやかクラブの保護者による幼児の相互関わりと交流

目 的：すこやかクラブのグループで保護者が交代で子どもを世話をし、預かり合いをする。

対 象：すこやかクラブ員の希望者

実施日：毎週金曜日10：00～12：00（5月～3月）

○「なかよしひろば」子育て親子の交流の場

対 象：0歳児～就学前児とその保護者（自由参加制）

実施日：毎週火曜日・水曜日（4月～3月）

・0歳児タイム・・・0歳児の親子が楽しく遊ぶ。

→毎週火曜日11:00～11:30

・1歳児タイム・・・1歳児の親子が楽しく遊ぶ。

→毎週水曜日11:00～11:30

・お誕生日会・・・誕生月の子どもを参加した親子で祝う。

→3ヶ月毎の0歳児タイム、1歳児タイム内にて行う

※ 新型コロナウイルスの影響で参加人数に制限が必要な場合は予約制にする。

その場合、10:00～10:30、11:00～11:30の2部制で行う。

○「お弁当タイム」子育て親子の交流の場

→毎日11:30～12:30

※ 新型コロナウイルスの影響で中止する場合がある。

（3）子育て家庭支援事業

放課後児童クラブ（学童保育）事業

活動を通して児童の健全な育成を図る。

対 象：小学校1年生～6年生児童

期 間：2021年4月1日～2022年3月31日

子育て相談事業

家庭及び地域の子育て機能の低下などに伴う、保護者の子育て不安を和らげ、心身ともに健全な児童の育成を図るため、児童館の職員が保護者の抱える育児に関する様々な問題について気軽に相談に応じる。

また、児童の虐待防止に関わる関係機関との連携を強化する。

対 象：来館又は電話などによる子育て相談

（4）地域連携推進事業

子どもの健全育成を推進するためには、地域住民の積極的参加による地域活動を通して地域の育成環境づくりを推進していく。

○ボランティアの受け入れ・育成

ボランティアの多様な活動を活かし、魅力ある児童館の展開を図るため、地域の方に広く呼びかけ児童館ボランティアの育成を図る。

○子育てコミュニティ育成事業（児童館日曜開放）

目 的：地域の各種団体やボランティアで構成する「開放委員会」が実施する、児童館日曜開放に積極的に協力する。

* 2021年度計画は、2021年3月7日 児童館日曜開放推進協議会で作成

（5）中央区合同行事

中央区内11カ所の児童館合同行事を年1回行う。

(6) 安全指導・危機管理

- ① 災害発生に備え、利用者、特に日常的に施設を利用する利用者に対して、避難訓練・指導などを実施することにより、災害発生時の対応方法を習得させる。
- ② 児童館には、自由来館者などの不特定多数の利用者もあり、災害時に、予備知識のない利用者も含めて適切にかつ安全に避難誘導など対応ができるよう、職員間での訓練・会議・研修などを実施し、職員に必要な対応方法を理解・確認する。
- ③ 上記のほか、利用者や保護者などに、疾病の予防や在宅時での生活指導なども含めた指導・啓発を行うことにより、児童の健全でかつ安全な成長を促す。
 - ・リスクマネジメント会議 月1回
 - ・避難訓練（火災か地震） 月1回
 - ・不審者対応 月1回
 - ・消防設備点検 年1回
 - ・総合福祉センター避難訓練（火災）参加 年2回
 - ・防災のつどい参加 1月

(7) 子どもの居場所づくり事業

放課後の子どもの居場所づくりの一環として学習支援教室「まなびや DAIJI」を行う。

対 象：小学校1年生～6年生

実施日：毎週金曜日 15：00～17：00

《行事計画》

1. 児童健全育成事業年間予定

4月	新入生歓迎会 こいのぼり作り
5月	楠北まつり参加
6月	つくって遊ぼう
7月	夏祭り サマープログラム（工作・ゲーム）
8月	サマープログラム（工作・ゲーム） ビデオシアター 交通安全教室 高齢者とのふれあい交流
9月	敬老の日プレゼント作り
10月	ハロウィンパーティー
11月	音楽遊び
12月	年末お楽しみ会
1月	お正月遊び カルタ大会 けん玉グランプリ
2月	豆まき
3月	つくって遊ぼう

定例行事

- ・おりがみ教室 月1回
- ・みんなであそぼう 月1回
- ・けん玉検定 月2回
- ・セカンドステップ 月1回

- ・おはなし会 月1回
- ・おりがみの日 毎週火曜日

※ 新型コロナウイルスの影響により、開催規模の縮小、変更、中止の場合がある。

3. すこやかクラブ年間予定

	月	日	内 容
1 学 期	5	13	開講式 発育測定
		20	制作 親子写真
		27	遠足ごっこ (大倉山公園)
	6	3	プレゼント作り
		10	衛生指導(ふれあい講座)
		17	制作
		24	ふれあい遊び
	7	1	七夕まつり
		8	1学期誕生日会
		15	水遊び シャボン玉遊び
2 学 期	9	2	染め紙
		9	歯科衛生指導
		16	製作
		30	こべっこランドの教室利用
	10	7	消防署見学
		14	ミニ運動会
		21	秋の遠足 (王子動物園)
		28	ハロウィンごっこ
	11	4	ふれあい講座
		11	おかあさんプログラム①
		18	散歩 (大倉山公園)
		25	つくって遊ぼう
	12	2	交通安全指導
		9	クリスマス制作
		16	2学期お誕生日会・クリスマス会
	3 学 期	1	14
21			おかあさんプログラム②
28			制作
2		3	節分遊び
		10	おかあさんプログラム③
		17	おかあさんプログラム④
		24	学期お誕生日会
3		3	お別れ遠足

		10	修了式
--	--	----	-----

※ 新型コロナウイルスの影響により、開催規模の縮小、変更、中止の場合がある。

令和3年度 事業計画書（案）

神戸市立たちばな児童館放課後児童クラブ

1. <基本方針>

- ①豊かな遊びや経験を通して、健やかな育成を図る。
- ②保護者、地域社会との連携を図り、よりよい子育て環境作りを行う。
- ③湊学童保育コーナーとの連携を密に図る。

2. <中長期目標>

- ①児童一人一人と丁寧に向き合い、心落ち着く場にする。
- ②安心して学童保育が利用できるよう、保護者との関係作りに努める。

3. <令和3年度計画>

- ①高学年児童への対応を学び知識・技能を深める。
- ②豊かな経験ができるよう努める。
- ③夏季休業日期間の希望者お弁当委託サービスを行う。
- ④リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑤児童、職員の交流を深め、湊学童保育コーナーと一体的に保育を行う。
- ⑥植物や生物の世話をする機会を用意し、命の大切さを学ぶ機会を作る。
- ⑦小学校との定期的な連絡会を実施する。
- ⑧児童が興味を持っていることに進んで取り組めるように、環境を整えていく。

4. <指導内容>

- ①健やかで安全な環境作りに努めると共に、限られた場所と時間の中で豊かな人間形成の基盤を培う。
 - ・学習支援
 - ・けん玉遊びの推奨
 - ・カルタ（百人一首）の推奨
 - ・セカンドステップ
 - ・おはなし会
 - ・乳幼児との関わり
 - ・地域との関わり
- ② 学校や地域と連携を密に行い、子どもの自立支援に役立てる。

5. <対象年齢>

小学1年生～6年生

※ 湊学童保育コーナーに受け入れ可能人数を超える申し込みがあった為、4年生以上の利用希望者をたちばな児童館で受け入れる

6. <行事計画>

年間行事

4月	新入生歓迎会
5月	楠北まつり・こども神輿参加
6月	交流会

7月	夏祭り 昼食会 サマープログラム (工作・ゲーム)
8月	サマープログラム (工作・ゲーム) ビデオシアター 交通安全指導 高齢者との交流会 こども神輿参加 乳幼児との交流
9月	敬老の日プレゼント作り
10月	ハロウィンパーティー
11月	音楽遊び 交流会
12月	クリスマス会 昼食会
1月	お正月遊び カルタ大会 個人懇談 新1年生資料配布
2月	豆まき
3月	お別れ会 お別れ遠足 入会説明会 昼食会

月間行事

・お誕生日会・おたより発行・おはなし会

その他

保育参観 (随時)

※ 新型コロナウイルスの影響により開催規模の縮小、変更、中止の場合がある。

7. <時間>

平日	月～金	下校後～17:00
	土	8:00～17:00
休日	月～金	8:00～17:00
	土	8:00～17:00

延長保育

① 17:00～18:00

② 18:00～19:00

令和3年度 事業計画書（案）

湊学童保育コーナー

1. <基本方針>

- ①豊かな遊びや経験を通して、健やかな育成を図る。
- ②小学校・保護者との連携を図り、よりよい子育て環境作りを行う。
- ③親館との連携を密に図る。

2. <中長期目標>

- ①児童一人一人と丁寧に向き合い、心落ち着く場にする。
- ②安心して学童保育が利用できるよう、小学校・保護者との連携作りに努める。

3. <令和3年度計画>

- ①小学校との連携を密に図り、定期的な連絡会を実施する。
- ②児童、職員の交流を深め、親館と一体的に保育を行う。
- ③豊かな経験ができるよう努める。
- ④夏季休業日期間の希望者お弁当委託サービスを行う。
- ⑤リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑥植物や生物の世話をする機会を用意し、命の大切さを学ぶ機会を作る。
- ⑦児童が興味を持っていることに進んで取り組めるように、環境を整えていく。

4. <指導内容>

- ①健やかで安全な環境作りに努めると共に、限られた場所と時間の中で豊かな人間形成の基盤を培う。
 - ・学習支援
 - ・けん玉遊びの推奨
 - ・カルタ（百人一首）の推奨
 - ・セカンドステップ
 - ・おはなし会
- ②小学校と連携を密に行い、子どもの自立支援に役立てる。

5. <対象年齢>

小学1年生～3年生

- ※ 受け入れ可能人数を超える申し込みがあったため、3年生までの受け入れにする。
4年生以上は、たちばな児童館で受け入れをする。

6. <行事計画>

年間行事

4月	新入生歓迎会
5月	楠北まつり・こども神輿参加
6月	つくって遊ぼう
7月	夏祭り 昼食会 サマープログラム（工作・ゲーム）

8月	サマープログラム（工作・ゲーム） ビデオシアター こども神輿参加
9月	敬老の日プレゼント作り
10月	ハロウィンパーティー
11月	音楽遊び
12月	クリスマス会 昼食会
1月	お正月遊び 個人懇談
2月	豆まき 新1年生資料配布
3月	お別れ会 お別れ遠足 入会説明会 昼食会

月間行事

・お誕生日会・おたより発行・おはなし会

その他

保育参観（随時）

※ 新型コロナウイルスの影響により開催規模の縮小、変更、中止の場合がある。

7. <時間>

平日	月～金	下校後～17:00
	土	8:00～17:00
休日	月～金	8:00～17:00
	土	8:00～17:00

延長保育

① 17:00～18:00

② 18:00～19:00

令和3年度 事業計画書 (案)

ハーバー大慈

1. <施設理念>

児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、利用者の人権を尊重し、地域から信頼される施設を目指す

2. <基本方針>

- ①利用者の最善の利益を目的とし、利用者主体の福祉サービスを提供する
- ②母と子の権利擁護のために、職員一人ひとりの倫理観、人間性を養い、母と子が安心して生活出来る場を提供する

3. <中長期計画>

- ①入所者が金銭的、精神的、社会的に自立出来るよう、自立に繋がる支援をする。また、全職員がそのビジョンに対し、共通の意識を持ち業務を遂行する
- ②内部組織の強化
- ③母子生活支援施設の認知の向上

4. <令和3年度目標>

- ①各入所者の自立へのプロセスを明確にし、ニーズに沿った支援をする
- ②職員の資質の向上
- ③母子連盟での活動…パンレットを作成し、配布する
施設での活動…大学を訪問し、授業を行う

5. <環境整備計画>

施設の建て替えについて、返済計画を含めた計画を作成する

6. <地域貢献>

- ①法人こども園の時間外保育受け入れ（20時以降）
- ②リフレッシュ保育事業の保育時間延長（21時以降）
- ③アフターケア（居室訪問、相談業務、病院の付き添い、金銭管理、関係機関との連携等）
- ④ほっとかへんネット中央との連携

7. <会議>

頻度	会議名		
月1回	職員会議	支援会議	リスクマネジメント会議
	ワンアップ会議	リーダー会議	リフレ委員会
年2回以上	三者連絡会議（施設、こども福祉係・生活支援課等の各担当者）		

8. <学習指導>

- ①小学生・・・（算数・国語）各週1回
- ②中学生・・・（数学・英語・テスト勉強）週1回以上、（家庭教師）週1回以上

9. <健康診断>

- ①職員・・・一般健康診断 年2回 検便（〇―157） 月1回
- ②母親・・・一般健康診断 年2回
- ③児童・・・一般健康診断 年2回

10. <研修>

全母協職員研修会・全母協研究大会・近母協研究大会・法人内研修会・市母協研修会・その他随時

11. <広報>

- ①施設新聞（利用者、関係機関に配布）、ホームページ、求人パンフレット
- ②リフレッシュ保育（利用対象者への広告の配布）
- ③母子生活支援施設の認知活動

1 2. 《年間行事》

	行事	昼食会 (開催数)	保健衛生	防災計画
4月	市母協総会・歓送迎会 個別対応遊び	2回		消防訓練
5月	母と子の合同運動会(市母協) 母子福祉会総会 個別対応遊び	2回		消防訓練 消防点検
6月	個別対応遊び	2回	害虫駆除	消防訓練
7月	七夕祭り(鮭寿司・豚汁) 個別対応遊び	2回		消防訓練
8月	児童キャンプ(市母協) 地蔵盆 個別対応遊び	4回		消防訓練 (水消火器)
9月	母と子のバス旅行(市母協) 焼肉パーティー 個別対応遊び	2回		消防訓練 (夜間想定)
10月	小中高生エンジョイ月間 母と子の親子エンジョイ OB会 ハロウィン 個別対応遊び	2回		消防訓練 不審者訓練
11月	施設内忘年会 個別対応遊び	2回		消防訓練 災害訓練 (津波想定) 消防点検
12月	施設内クリスマス会 情報交換会(市母協) 個別対応遊び	3回		消防訓練
1月	新春母と子のつどい(市母協) 新年会 児童もちつき 個別対応遊び	1回		消防訓練
2月	節分 個別対応遊び	2回		消防訓練 (浸水訓練)
3月	ひなまつり 児童スキー大会(市母協) 個別対応遊び	3回	排水管清掃	消防訓練

令和3年度 事業計画書（案）

大慈学童クラブ

1. <基本方針>
 - ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する
 - ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する

2. <中長期計画>
 - ・地域福祉の一環として、地域のニーズに応え、利用者が安心して利用出来るサービスを提供する。また、各利用者が集団生活を通し、思いやりの心と考える力を育めるよう努める

3. <令和3年度目標>
 - ①個別配慮が必要な児童の受け入れ等、利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する
 - ②リスクマネジメントに基づき、リスクの軽減を図る
 - ③職員の資質の向上

4. <地域貢献>

延長保育の時間外受け入れ・・・19時～21時

5. <会議>

学童委員会…月1回

6. <広報>

学童新聞（利用者、関係機関に配布）
新学童受け入れ説明会・抽選会

7. 《年間行事》

	行事	昼食会（開催数）	保健衛生	防災計画
4月	お花見会 のびっ慈 day	2回		消防訓練
5月	のびっ慈 day	2回		消防点検
6月	グループワーク（2回） のびっ慈 day	2回	害虫駆除	消防訓練
7月	七夕（七夕飾り作り） 学童個別懇談会 のびっ慈 day	2回		消防訓練
8月	地藏盆 屋台村 中央体育館利用 水遊び ボランティアによる遊び 交通安全協会（生田署） のびっ慈 day	4回		消防訓練 （水消火器）
9月	のびっ慈 day	2回		
10月	ハロウィン のびっ慈 day	2回		消防訓練 不審者訓練
11月	グループワーク のびっ慈 day	2回		消防訓練 災害訓練 （津波想定） 消防点検
12月	クリスマス会 のびっ慈 day 学童個別懇談会	2回		消防訓練
1月	もちつき のびっ慈 day	1回		消防訓練
2月	節分（豆まき） のびっ慈 day	2回		消防訓練 （浸水訓練）
3月	ひなまつり 3年生お別れ会 のびっ慈 day	3回		消防訓練